



シリーズ 「私たちの思い」

坂井 敏幸

柏崎刈羽原子力発電所
広報部 柏崎地域グループ
平成5年入社 柏崎市出身

柏崎市内の中でも原子力発電所にほど近い地域で生まれ育った私が、「発電所」を初めて意識し実感したのは、発電所見学をした中学生の頃です。地元で最新鋭の大きな設備があることに感動し、将来はここで働いてみたいと考えるようになりました。

工業高校を卒業後、東京電力に入社すると、福島第一や柏崎刈羽で主に放射線を管理する業務を担当し、平成23年に福島第一が事故を起こした時は対応要員として柏崎刈羽からすぐに福島入りしました。作業員の放射線測定やマスクの着脱など、やるべきことは後を絶たず、時間や日

にちの感覚も無くなってしまおうような状況のなか、福島第一や自分自身はどうなってしまうのかという不安を抱えながら、無我夢中で対応をしました。

避難される方のお手伝いをした時には、皆さまの辛さや苦しみを間近で感じ、我々の起こしてしまった事故がどれだけ重大で深刻なものなのかを痛感しました。

その年の秋からは、発電所の現状や取り組みをお知らせする現在の部署に異動し、これまでよりも地域の方と交流する機会が増えました。ここでは、先輩からの「現場・現物・現実」に向き合わないと本質はみえない」という言葉を胸に、直接お会いすること、特にトラブルがあった時には、できる限り早くお伺いしてご説明することを大切にしています。

地域の皆さまのご関心にお応えするために、私は自分の言葉で分かりやすくご説明することを心がけています。技術職場で培った経験は私の強みです。易しい言葉で補足したり、時には専門的な話もイメージしやすいように身近なものに例えてお話ししたりすることもあり、「よく分かった」「頑張れ」などとお声掛けいただいた時は、一層気が引き締まります。

設備の安全対策を進めることはもちろんですが、ご不安やご懸念にしっかりとお応えすることも事故の当事者としての責務です。これからも地域の皆さまとのコミュニケーションを大切にして、発電所と地域をつなぐ「架け橋」になりたいと考えています。



コミュニケーションを
大切に、
発電所と地域をつなぐ
「架け橋」になる

平成28年12月撮影

昨日より今日、今日より明日。私たちは、より高い安全レベルを目指し挑戦を続けます。

シリーズ「私たちの思い」は、WEBでもご覧いただけます。

TEPCO 新潟本社  <http://www.tepco.co.jp/niigata/index-j.html>



東京電力ホールディングス 新潟本社
025-283-7461
9:00~17:00 (土日・祝日・年末年始除く)

